

ユニット 1

東日本大震災

先生方へ

このユニットでは東日本大震災の基本知識と基本的語彙を紹介していますので、「明日への架け橋」の教材を使って教えるコースの最初のユニットとして使ってください。

Goals

Content Goal:

- Students will gain basic knowledge on Great East Japan Earthquake.

Language Goal:

- Students will learn basic vocabulary related to Great East Japan Earthquake.

- 1.2. このコースでは、この大地震に関係のある色々なテーマやトピックについて学んでいきます。今学期計画しているトピックは_____、_____です。表の「K. 知っていること」にこれらのトピックについて自分の知っていることを書いてください。書き終わったら、クラスメートと比べてみましょう。

まず、_____と KWL チャートの左のコラムに、選んだトピックを書かせてください。そして、それらのトピックについて学習者が現時点で知っていることを「K. 知っていること」の欄に書かせてください。学習者が持っている背景知識の量や深さ、選んだ内容をどこまで表現できるかがわかります。「K. 知っていること」を書かせた後、「L. 学びたいこと」を書かせてください。学習者に何を学びたいかを考えさせることにより、学習の目的を明確にさせます。指導の際に、K と W の情報を参考にして使うアクティビティーや時間数を調節してください。

「L. 学んだこと」は、コースの最後の日に書かせます。最後に、K と L を比べて、学習の成果を自己評価させてください。ポートフォリオをコースの評価で使っているクラスでは、アセスメントとしてこの表を使うことができます。

- 3.2. 次のサイトのビデオや写真を見て、質問に答えましょう。
クラスで紹介する前に教材を見てみて、クラスで使うものを選んでください。震災の映像や画像に不快感を示す学習者がいる場合、そのような学生がいると予測できる場合は、学習者のレディネスに合わせてください。すべて見せる必要はありません。
4. 比べてみよう

4.1. 次の表は 1960 年以降に世界で起きた大地震の例です。表を見て質問に答えましょう。

- 5) 地震の大きさと被害（死者数、被害額）は必ずしも比例していません。例えば、アラスカ大地震は規模は大変大きかったのに、死者数や被害額は他の地震と比べて少ないです。なぜでしょうか。

期待する答え：決まった答えはありません。他の大地震と比べて東北大地震についていろいろ考えてもらうのが目的です。

考える要因の例：地震が発生した季節や時間帯、被害にあった地域の人口、その国（または地域）の経済（物価を含む）など

- 6) 東日本大震災は他の地震と比べて何が違いますか。

期待する答え：上の表だけを見る限り分かるのは、被害額が一番大きいことです。

学習者が何か違いに気づいたら、その理由も考えさせてください。その際、3（東日本大震災 ABC）で学習したことを思い出させて、意見交換させてください。地震や津波が起こった時間帯や原発事故などが出てきたら、被害の大きさを考えさせ、復興や賠償金などにどのくらい必要になるか考えさせてください。

5. 東日本大震災の参考資料

時間のある人や興味のある人は下のサイトを見てもっと調べてください。

ここにある資料はほんの一部にすぎませんが、学習者の興味、コースのニーズに合わせてご利用ください。